

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響など社会経済情勢の変化に的確に対応するとともに、「名古屋市営交通事業経営計画2023」の理念である「安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄」を目指し、計画に掲げた施策・事業を着実に実施することを基本に、「安全・安心の推進」、「快適・便利の向上」、「まちの活性化への貢献」及び「安定した運営基盤の確立」に重点的に取り組みました。

こうした中、経営状況については、両事業とも新型コロナウイルス感染症の影響により乗車料収入が大きく減少しており、経常損益及び純損益がともに2年連続の赤字となるなど、非常に厳しい経営状況になっています。

■市バス事業

1. 業務量

(1) 最多運転車両数	1日	906両
(2) 運転キロ	1日	98,921キロメートル
(3) 乗車人員	1日	279,095人

2. 収支の状況

収益的収支		(税抜 単位：百万円)
区 分		令和3年度見込
収入	経常収入	23,688
	営業収益	17,362
	うち運輸収益	13,520
	営業外収益	6,326
	うち一般会計補助金	6,124
支出	経常支出	24,570
	営業費用	24,282
	うち人件費	13,201
	営業外費用	288
営業収支	△ 6,920	
経常収支	△ 882	
特別収支	△ 506	
純損益	△ 1,388	
累積欠損金	△ 34,289	

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和3年度見込
収入	資本的収入	1,591
	企業債	1,358
	高速鉄道事業会計出資金	200
	その他	33
支出	資本的支出	3,777
	建設改良費	1,436
	企業債償還金	1,541
	借入金返還金	800
資本的収支	△ 2,186	
企業債残高	5,154	

■地下鉄事業

1. 業務量

(1) 最多運転車両数	1日	680両 (117編成)
(2) 運転キロ	1日	188,802キロメートル
(3) 乗車人員	1日	1,041,355人

2. 収支の状況

収益的収支		(税抜 単位：百万円)
区 分		令和3年度見込
収入	経常収入	72,131
	営業収益	64,483
	うち運輸収益	58,559
	営業外収益	7,648
	うち一般会計補助金	3,950
支出	経常支出	75,481
	営業費用	71,001
	うち人件費	26,194
	うち減価償却費	23,916
	営業外費用	4,480
	うち支払利息	4,410
営業収支	△ 6,518	
経常収支	△ 3,350	
特別償元金償還補助金	2,924	
実質経常収支 (※1)	△ 6,274	
特別収支	△ 499	
純損益	△ 3,849	
累積欠損金	△ 211,914	

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和3年度見込
収入	資本的収入	13,483
	企業債	9,128
	一般会計出資金	2,151
	貸付金返還金	400
	一般会計補助金	1,212
	国庫補助金	70
	その他	522
	支出	資本的支出
建設改良費		11,361
企業債償還金		18,331
平準化償還金		3,404
特例償還金		2,924
緩和償還金		10,186
その他		200
資本的収支		△ 32,923
資金不足額	△ 48,342	
資金手当償残高	148,514	
実質資金不足額 (※2)	△ 196,856	
企業債残高	392,511	

(※1) 実質経常収支

実質的な経営成績を表すために、一般会計補助金のうち「特別償元金償還補助金」を経常収支から除いたもの。

(※2) 実質資金不足額

実質的な資金不足の実態を表すために、資金不足を補うために発行した企業債の残高を含むもの。